

議事（２） 焼津市水道事業中期経営計画達成状況の報告

No.1

- ・有収率及び有効率が常に 90%以上を堅持し県内平均に比較して上位にあることは良好ですが、経年的に低下傾向にあることが懸念されます。有収率及び有効率の低下傾向に反して、経年化管路率が年々上昇しています。報告書にも指摘されていますが、漏水が増加していると推測されるので、対処が必要と思います。
- ・有効率の推移によると、県平均より高い水準にありますが、平成 29 年度から年々減少している状況にあるので、配水管の更新や漏水箇所の修繕により、有効率向上に努めていただきたい。

【回答】

管路耐震化計画に基づき、災害時に配水被害が大きく、経年化している基幹管路を優先的に更新していきます。

経年化している配水管、給水管の漏水箇所は、専門業者への漏水調査業務委託によりの確に発見し、確実に漏水箇所の修繕を実施していきます。この漏水調査は、焼津市全域を3ブロックに分けて、毎年1ブロックを継続的に実施していきます。

議事（２） 焼津市水道事業中期経営計画達成状況の報告

No.2

コロナ対策として減免をしたにもかかわらず黒字という体力のある企業体ですので、「お客様サービスの充実」として、電気・ガスでも実施しているクレジットカード決済を考えてもよいのではないのでしょうか。

【回答】

クレジットカード決済につきましては、給水収益が減少傾向にある中で、導入する場合の初期費用、運用費用に加えて、他の決済手段と比較して1件当たりの収納手数料が高額になります。焼津市水道事業では、収納手数料が安価な口座振替を推奨しております。他に、コンビニエンスストアでのお支払いや、PayPayなどのアプリ決済を導入しております。クレジットカード決済の導入につきましては慎重を期しているところではございますが、今後も調査、研究して参りたいと考えております。

議事（２） 焼津市水道事業中期経営計画達成状況の報告

No.3

環境負荷低減への取組みがなされております。時代に即した取組みであり評価できます。これからの社会は「脱炭素社会」の実現や「SDGs」への取組みは、官民挙げて取り組むことが重要です。これらの実現に向けた施策を経営戦略に掲げていくことが肝要かと考えます。

「脱炭素社会」の実現や「SDGs」への取組みは地球規模の目標であり、企業だけが行うものではありません。官も民と共に進めていっていただきたい。

【回答】

焼津市水道ビジョン・経営戦略 2020 では、水道事業の取組について「SDGs」の視点で捉えてはいたませんが、「SDGs」の目標 13 で提言されている「気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策」や「脱炭素社会の実現」に関連する取組として、基本目標の一つに「環境に配慮した事業の運営」を設定し、目標達成に向けた重点実行計画に以下のとおり目標値を掲げ、毎年評価していくことになっています。

重点実行計画	評価指標	目標値
配水場施設や空調設備の高効率率機器の導入	配水量 1 m ³ 当たりの電力消費量	0.26kwh/m ³ 以下
電気・燃料の削減や省エネルギー機器の導入、	配水量 1 m ³ 当たり消費エネルギー	2.60MJ/m ³ 以下
水源井戸の水量調整方法の見直し	水源井戸の水量調整方法の見直し	年 1 回検証
資源の有効活用の推進	建設副産物のリサイクル率	70.0%以上

なお、環境問題への対応は、持続可能な社会の実現のために公営企業として水道事業が取り組むべき課題と認識し、今後、水道ビジョン・経営戦略の見直しを行う中で、「SDGs」の視点を組み込むことで一層の経営基盤強化を図りたいと考えています。

全体（その他）

No.4

リニア中央新幹線建設の影響により、大井川の水が減るのではないかとされている中で、それに変わる水資源を確保する手出では、あるのでしょうか。

【回答】

焼津市水道事業の水源は、「深井戸から汲み上げた地下水」と「大井川広域水道企業団からの受水（大井川河川水を原水としています。）」の2つがあります。

現在の各水源の使用割合は、深井戸からの地下水が約85%、大井川広域水道からの受水が約15%です。

今後も井戸の水位について定期的に確認し、引き続き2つの水源を使用していきたいと考えています。

全体（その他）

No.5

将来、少子高齢化が進み、人口や世帯数も減っていくものと思われます。また、現在ではトイレの1回の流量も以前より少なく、キッチンの水道も自然に止まる等、節水型社会へと変化しています。当然、水道料金収入も減るものと考えられます。その対策として今検討されていることはあるのでしょうか？

既に実施されているかもしれませんが、例えば電気メーターのようにスマートメーターにして、検針員の数を減らして人件費の削減を考えているとか。

【回答】

焼津市水道ビジョン・経営戦略 2020 では、投資は更新需要の増大により今後さらに増えていく一方で、財源は給水収益の減少により、今後も減少していくと予測しております。

このような状況の中で、投資と財源のバランスを均衡させるため、投資につきましては施設適正規模での更新、管路のダウンサイジング、施設・管路の長寿命化を図ることとしており、財源につきましては企業債を適正に活用すること、適正な時期に料金体系を見直すこととしております。

例示いただいたスマートメーターに関しては、購入費用が現在よりも高額になるため、導入につきましては慎重を期しているところではございますが、今後も調査、研究して参りたいと考えております。

全体（その他）

No.6

最近の新聞報道では、水道事業の広域化や、水道料金改定の延期などが取り上げられていますが、どのように考えておられるのかを教えてください、ありがたいと思っております。

【回答】

焼津市水道ビジョン・経営戦略 2020 では、投資は更新需要の増大により今後さらに増えていく一方で、財源は給水収益の減少により、今後も減少していくと予測しております。将来的には投資と財源にギャップが生じる見通しです。

このような状況の中で、投資と財源のバランスを均衡させるため、投資につきましては施設適正規模での更新、管路のダウンサイジング、施設・管路の長寿命化を図ることとしており、財源につきましては企業債を適正に活用すること、適正な時期に料金体系を見直すこととしております。

水道事業の広域化についてですが、現在、大井川流域の事業体で議論を重ねているところであります。現在、近隣の島田市、藤枝市とは事務レベルの連携を図っており、例えば、自然災害発生時や管路の漏水事故発生時には、緊急修繕用資材をお互いに融通し合う体制を整えております。今後も、事務レベルの連携につきまして、今以上に取り組んで参りたいと考えております。

全体（その他）

No.7

- ・水道事業の現状と課題について、広報やいづ等を通じ広く PR し、日頃から市民の協力と理解を得ておく必要があると感じていますので、更なる努力をしていただけると幸いです。
- ・広報や啓発活動は、まだまだ足りないと思います。

【回答】

水道事業が、令和2年度の広報やいづに掲載した内容につきましては、以下の表のとおりになります。

また、水道事業の啓発活動の一つとして、令和3年4月、5月に、水道新聞「焼津の水道」を配付予定です。今回の水道新聞の主な内容は、焼津市水道ビジョン・経営戦略 2020 をわかりやすく説明し、市民の皆様にご理解いただく内容となっております。

今後も、広報やいづや、水道事業ホームページなどを活用し、市民の皆様へ情報を発信していきたいと思っております。

【令和2年度広報やいづ掲載内容】

掲載号	内容
R2.4月号	・焼津市水道ビジョン・経営戦略2020策定について ・柘宜島系・中新田系の水道管耐震化工事のご協力をお願い。
R2.6月号	・第62回水道週間(6/1～6/7)に伴い、水道事業の取組を紹介 ・水道料金7・8月分の基本料金の全額減免を実施します。
R2.7月号	給水装置の適正管理のお願い
R2.8月号	・スマートフォンなどを利用したアプリ決済の開始 ・給水装置などの工事は、必ず「焼津市指定給水装置工事事業者」に依頼してください。
R2.10月号	柘宜島系・中新田系の水道管耐震化工事にご協力をお願い。
R2.12月号	水道管の凍結にご注意ください。
R3.3月号	貯水槽水道の適切な使用・管理について